

徳田小学校 頭と体で感じる環境学習



徳田小学校の5・6年生47人を対象に7月22日、トヨタ自動車によるカーボンニュートラル出張授業が行われました。座学、車両展示、デモラン※を併せて実施する授業は県内初。
※走行の実演

本町出身、同校の卒業生で同社で車両開発に携わるプロドライバー佐々木雅弘さんが地元で後輩たちを前に、地球環境について学ぶことの大切さを伝えました。



カーボンニュートラル・合言葉は「ゼロ」
「二酸化炭素が出る量を減らして、吸収する量と出る量を合わせて『ゼロ』」という合言葉を両手で「0」を作る振り付けとともに学びました。

水素エンジンの搭載車両の説明
座学の後、かっこうグラウンドに移動してレーシングカーの展示、デモランを実施。佐々木さんから、水素エンジンの特徴について説明されました。

卒業生から後輩へエール
閉会の後、子どもたちはここぞとばかりに佐々木さんのサインを求めました。佐々木さんからは、後輩たちの成長を願う言葉が掛けられました。



岩清水園芸から煙山保育園へ 遮熱フィルムを寄贈

(株)岩清水園芸は煙山保育園に対し、窓に貼る遮熱フィルムを寄贈しました。8月4日、同園でセレモニーが行われ、岩清水園芸の吉田将太社長から寄付に係る目録が贈呈されました。遮熱フィルムは太陽光が室内に差すことによる室温の上昇を防ぐもので、同園ホールの西側の窓などに貼り、園児の快適な園生活のために活用されています。



町民歌に親しんで 長谷川さん親子が町に編曲版寄贈

南矢幅2区の長谷川久美子さん、稜真さん親子が8月22日、矢巾町民歌の編曲版を収録したCDなどを町へ寄贈しました。
長谷川さんは、以前から親交があり県内で作曲家などとして活躍する佐藤将展さんの協力を得て「町民歌を後世に残したい」という思いで制作。「町内のイベントなどで活用してもらえば」と話しました。

トヨタ自動車 カーボンニュートラル出張授業



佐々木雅弘選手

この(町の)環境で(育ち、)レーサーになり、トヨタ自動車と契約して地球、環境問題、カーボンニュートラルについて勉強しながら車の開発、楽しさや地球環境を忘れずに仕事をしている。母校でこのような活動ができることは感慨深い。僕が育った岩手を未来へ残したい。学んだことを一つでも覚えてもらえれば。



高橋智也・トヨタ自動車
GAZOO Racing カンパニー
プレジデント

40年前はこんなに暑くなく、ゲリラ豪雨はなかった。今よりも環境が悪くなってはいけない。今の環境を受け継いでいくことは大人の責任。みんなも未来に向けて、今できることはたくさんある。大人になったとき、将来の子どもたちのために自分が何ができるのかを考えてほしい。

トップレーサーの運転技術を体感

私たちが、佐々木選手と一緒にレーシングカーに乗り助手席でデモランを体験しました！

迫力ある運転だった！ 生きて帰ってこられた！
楽しかった！ 怖かった！



5年 ひろ
米倉 宏 さん



5年 しいな
久慈 詩奈 さん



6年 さあや
志村 咲綾 さん



6年 けんた
谷村 健太 さん



町安全・安心の日 有識者から日頃の備え学ぶ

平成25年8月に発生した豪雨災害をきっかけに制定した「安全・安心の日」に併せた行事を8月2日、田園ホールで開催。町内外で防災活動に関わる約160人が参加。盛岡地方気象台の夢沼信三台長(写真左)、町と災害対策に関する包括協定を結ぶ(株)北良の笠井健社長が登壇し、気象情報から考える災害対策、防災グッズのアイデアなどを紹介しました。



仕事の魅力学ぶ「おしごと教室」 プロロジスパーク盛岡で開催

町内の企業などで仕事内容や働きがいなどを学ぶ「おしごと教室」を7月31日、プロロジスパーク盛岡で行いました。町内の小学生5人が参加。施設内の倉庫などを見学しながら、物流を担う人たちから、仕事のやりがいを学びました。参加した佐々木杏さん(煙山小6年)は「施設の中に入り、社員の皆さんの話を聞いて前よりも物流の仕事に興味を持った」と話しました。